（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	さん。

公表日　令和7年3月11日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		確保できている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		状態や特性に応じた対応を行っている	さらに工夫が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情緒に安定、環境上の配慮が適切になされているか。	○		特性に応じた環境を作っている	さらに配慮が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に応じた空間となっているか。	○		支援後は消毒や清掃を行っている 子供たちに合わせた空間である	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		それぞれに応じた空間を作っている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		残業カットを目指し工夫する
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の意向を把握し改善していく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員の意見を把握し改善に努める	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部の評価は受けにくい環境。外部との交流を持つ必要がある
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修の機会を確保している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成、公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		関係取りシートを用いて計画を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		策定会議を開き全職員参加し作成している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		職員ミーティングで共通理解を図っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	子どもの適応行動の把握に努めている	アセスメントツールを使用する
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・関係機関」のならび及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、そのよで、具体的な支援内容が設定されているか。	○		作成している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		子どもにあったプログラムを作成している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定しないよう職員がそれぞれ役割をもって取り組んでいる	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		状況に応じた支援をしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		職員ミーティングを行いながら毎回行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		それぞれで振り返りは行っているが、全体では難しい状況
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		見直している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。		○		多様性に合わせられる工夫が必要
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をするカを育てるための支援を行っているか。		○		自由遊びを通して支援しているが、さらに改善が必要
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		相談者会の場などで連携をとるよう努めている
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時に学校と連絡帳等を共有している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		連携できていないケースもある
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		今後共有していく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。		○		必要な場合は要請したい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		外出活動により地域の児童と接する機会がある	
	33	（仮称）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		機会があれば参加している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		子どもの様子を写真付きで報告している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等が参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		今後取り組みたい
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○		契約時のみ行っているが、質問があれば応じていく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		○	保護者の意向は確認できている	子どもの意向にも向き合いたい
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。		○		支援内容の説明をさらに伝えていく
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○		必要時はいつでも対応していきたい
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		支援できるよう努めたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		体制を整備し適切に行っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		カギをつけて保管している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		さらに配慮が必要
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		実状程度。 開かれた運営を目指す
非常時等の対応	46	感染防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的に訓練を実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		曜日が重ならないよう計画を立てている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		職員間で共有している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		保護者の要望に合わせている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		安全に配慮していく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		保護者に安心していただけるよう特性に合わせて話をしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	再発防止のため情報共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修に参加し情報共有している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		必要な時が来たら十分説明し了解を得ていきたい	